

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	自然保護啓発普及事業			事務事業コード	20270100
概要	市民の緑化への意識高揚を図るため、緑化標語・ポスターコンクール等を開催する。				
総合計画	基本施策	1	自然・生態系の保護と回復	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	27	自然環境の保全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市自然環境の保全及び育成に関する条例				
市関連事業					
対象	市民（主に小中学生）				
実施の背景	市民に環境に対する理解を深めるため、環境啓発標語・ポスターコンクールを通じて、自然保護意識の啓発・普及を行うため実施する。				
事業目標	環境啓発標語・ポスターコンクールの開催を通じて、市内の小中学生を中心に多くの児童、生徒の参加により、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努める。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▼環境啓発標語・ポスターコンクールとして、緑化推進、まち美化及び地球温暖化防止をよびかけることをテーマとした、環境を大切にしたい意欲が高まることを強調した作品を募集し、市が依頼する審査委員が審査し、入選作品を選定する。 ▼府中市にゆかりのある大賀蓮をはじめ30種類の蓮が植えている郷土の森公園修景池において、花蓮の観賞や講師による花蓮の解説を行う「蓮を観る会」を開催する。 ▼市が主催する環境まつりにおいて、鳥の巣箱づくりを通じて身近な野鳥に関心を持ち、自然を大切にしたい心を育てるため、鳥の巣箱作り講習会を実施する。 				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
環境啓発ポスターコンクールの実施 府中環境まつりにおける環境啓発イベントの実施 自然環境学習会の実施 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援 第56回蓮を観る会を実施	環境啓発ポスターコンクールの開催を通じて、市内の小中学生を中心に多くの生徒の参加により、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることが出来た。 身近な自然環境について、市民に興味・関心を持ってもらうため、自然環境学習会を実施し、自然保護意識の普及啓発に努めた。 環境啓発イベントの府中環境まつりにおいて、鳥の巣箱講習会を開催し、自然保護の啓発普及に取り組んだ。	


 新規・レベルアップ

 継続

 見直し

 廃止

H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
環境啓発ポスターコンクールの実施 府中環境まつりにおける環境啓発イベントの実施 自然環境学習会の実施 多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援 第57回蓮を観る会を実施	ポスターコンクールで入選した作品を緑化意識の高揚を図る広告物として活用するなど、全校児童、生徒が参加するなどの内容の充実を図りたい。 生物多様性に関する講演会を実施し、生物多様性について知る機会を提供していく。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼環境啓発ポスターコンクールの実施 ▼府中環境まつりにおける環境啓発イベントの実施 ▼自然環境学習会の実施 ▼多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援 ▼第57回蓮を観る会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼環境啓発ポスターコンクールを通じて、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。 ▼府中環境まつりにおいて、鳥の巣箱づくりや木の実細工を行い、自然保護や自然環境の啓発に取り組んだ。 ▼身近な自然環境について、市民に興味や関心を持ってもらうため、自然環境学習会を実施し、自然保護意識の普及啓発に努めた。 	


 新規・レベルアップ

 継続

 見直し

 廃止

H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼環境啓発ポスターコンクールの実施 ▼府中環境まつりにおける環境啓発イベントの実施 ▼多摩川ツバメの集団ねぐら保全活動支援 ▼第58回蓮を観る会を実施 	ポスターコンクールで入選した作品を緑化意識の高揚を図る広告物として活用していく。 環境啓発イベントを開催することで、自然環境や自然保護意識の啓発に努めていく。

平成31年度における事業の位置付け		B	次世代を担う子供たちに緑化意識の高揚を図ることは重要であるため、貴重な自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。また、蓮を観る会では、府中の大賀蓮を多くの市民に鑑賞してもらっている。市外からも鑑賞に来ている。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	1	
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
応募者数	2,000	計画	当初値	2,000	2,000	2,000	2,000	小中学生による参加が多いが、年度ごとに応募者数が減少している(平成28年度標語部門廃止)。 蓮を観る会については、府中の大賀蓮を市民に鑑賞してもらっている。また市外からも鑑賞に来ている。
			補正值	-	-	-	-	
	実績	実績	2,377	2,593	123	35	-	
蓮を観る会参加者数	1,000	計画	当初値	1,000	1,000	1,000	1,000	
			補正值	-	-	-	-	
	実績	実績	800	300	600	150	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	827,000	765,000	747,000	771,000	768,000	623,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	827,000	765,000	747,000	771,000	768,000	623,000
予算現額	827,000	765,000	747,000	771,000	768,000	0
決算額	650,586	585,818	716,523	741,397	630,209	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	650,586	585,818	716,523	741,397	630,209	0
執行率	78.7%	76.6%	95.9%	96.2%	82.1%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.68	0.90	0.61	0.61	0.61	
職員人件費	5,434,810	6,852,380	4,752,658	4,753,427	4,685,791	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	64,796	71,023	51,961	44,658	44,312	
総コスト	6,150,192	7,509,221	5,521,142	5,539,482	5,360,312	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>環境啓発ポスターコンクールの開催を通じて、市内の小中学生を中心に多くの児童、生徒の参加により、自然環境の保全に対する市民意識の啓発に努めることができた。また、環境啓発イベントである、故大賀一郎氏の遺志を引継ぎ、蓮を観る会を開くことにより、市民だけでなく市外からも来場する方も訪れ、多くの方に親しまれている。</p>
<p>今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)</p> <p>市民に潤いと安らぎを与える緑を将来にわたって保護するため、次世代を担う子ども達を中心に市民意識の高揚を高めるため、ポスターコンクールを充実させる必要がある。応募作品を増やすように工夫したい。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1118000	自然保護啓発普及費	550,000	414,578	408,000
2	01	40	15	25	1119000	花蓮保存普及費	218,000	215,631	215,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							768,000	630,209	623,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	自然環境調査員活動事業			事務事業コード	20270200
概要	身近な自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境を調査する。				
総合計画	基本施策	1	自然・生態系の保護と回復	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	27	自然環境の保全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市自然環境調査員会議設置要綱				
市関連事業					
対象	公募市民及び市民団体の代表				
実施の背景	市民、民間団体、市などが連携して自然環境を保護し、生物多様性を保全するための仕組みづくりを進めていくため。				
事業目標	市内の自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援する。				
事業内容	市内の動植物の生息状況及びその他の自然環境を把握するため、自然保護団体や公募市民で構成する自然環境調査員による動植物の生息調査を実施する。 だれもが気軽に参加できる体験型イベントや、自然観察会及び学習会を実施する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査の実施 ▼自然環境調査員会議学習会の開催 ▼小学校の総合的学習の時間の支援 ▼ウォーキングマップを活用したウォーキングツアーの実施 ▼緑化講習会の企画・運営 ▼ホタル飼育支援 ▼府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営 	自然環境調査員による動植物生息調査を継続的に実施し、自然環境の把握に努めた。 自然保護意識の普及啓発することを目的に、ウォーキングツアーや市民が気軽に参加できるような自然観察会や学習会を実施し自然保護意識の普及啓発に努めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査の実施 ▼自然環境調査員会議学習会の開催 ▼小学校の総合的学習の時間の支援 ▼ウォーキングマップを活用したウォーキングツアーの実施 ▼緑化講習会の企画・運営 ▼ホタル飼育支援 ▼府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営 	自然環境調査員による動植物生息調査を継続的に実施する。自然保護意識の普及啓発することを目的に、ウォーキングツアーや市民が気軽に参加できるような自然観察会や学習会を実施する。 ホタル飼育支援については、今後の活動を持続的なものにしていくためにも、ホタルの生息できる環境に適した管理手法や情報を収集し、ホタルが生息できる環境にあるか検証していく。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼自然環境調査員会議学習会の開催 ▼小学校の総合的学習の時間の支援 ▼自然観察ウォーキングツアーの実施 ▼緑化講習会の企画・運営 ▼府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営 ▼ホタル飼育支援 ▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査の実施 	自然保護意識の普及啓発することを目的に、ウォーキングツアーや市民が気軽に参加できるような自然観察会や学習会を実施する。 ホタル飼育支援については、「府中ホタルの会」に委託しており、ホタルの生息できる環境に適した管理手法や情報を収集し、ホタルが生息できる環境にあるか検証していく。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査の実施 ▼自然環境調査員会議学習会の開催 ▼小学校の総合的学習の時間の支援 ▼自然観察ウォーキングツアーの実施 ▼緑化講習会の企画・運営 ▼府中環境まつり（自然体験コーナー）の企画・運営 ▼自然環境調査員会議委員研修の実施 	自然環境調査員による動植物の生息調査を実施し、自然環境の把握に努めた。自然保護意識の普及啓発を目的に、自然観察ウォーキングツアーや緑化講習会を実施して、自然保護意識の普及啓発に努めていく。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	自然環境の保全の推進を図るため、自然環境調査員による動植物の生息状況やその他の自然環境の把握に努めるとともに、自然観察ウォーキングツアーや緑化講習会等を開催し、自然保護意識の普及啓発に努めていく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
自然観察会や学習会の開催 (参加人数)	50	計画値 当初値	50	50	50	50	50	調査員による動植物生息調査を継続的に実施し、自然保護意識の普及・啓発することを目的に、自然観察会及び学習会の実施した。学習会の参加者が増加した。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	106	78	121	101	-		
-	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	1,958,000	1,109,000	1,419,000	1,069,000	1,342,000	2,176,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,958,000	1,109,000	1,419,000	1,069,000	1,342,000	2,176,000
予算現額	1,958,000	1,109,000	1,419,000	1,069,000	1,342,000	0
決算額	1,810,641	905,179	1,147,659	908,159	1,149,882	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,810,641	905,179	1,147,659	908,159	1,149,882	0
執行率	92.5%	81.6%	80.9%	85.0%	85.7%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.36	0.70	1.11	1.12	1.12	
職員人件費	10,869,620	5,329,629	8,648,280	8,727,603	8,603,419	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	129,594	55,240	94,552	81,994	81,359	
総コスト	12,809,855	6,290,048	9,890,491	9,717,756	9,834,660	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
自然環境調査員が自然環境の保全の推進を図るため、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の把握に努めるとともに、自然環境の保全のための普及啓発を行った。調査員を対象とした自然観察会や学習会を開催し、生物多様性の保全に関する知識や理解を深めるとともに、自然環境及び自然保護意識に関する普及啓発に取組んだ。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
調査員の専門知識の向上が不可欠である。また調査員の高齢化が進み、世代交代が進んでいない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1120500	自然環境調査員活動費	1,342,000	1,149,882	2,176,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							1,342,000	1,149,882	2,176,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	自然環境保全活動促進事業			事務事業コード	20270300
概要	多摩川など水辺を活用した自然環境学習や体験学習を実施する。市民の緑化活動を支援するための事業を実施する。				
総合計画	基本施策	1	自然・生態系の保護と回復	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	27	自然環境の保全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中自然環境の保全に及び育成に関する条例				
市関連事業					
対象	市民				
実施の背景	身近な自然である多摩川において、子ども達が川遊びや、生き物、植物などの観察を通じて、楽しみながら学ぶことにより、自然とふれあう機会を提供し、貴重な自然を大切に作る意識を作りあげていく。				
事業目標	多摩川など水辺を活用した自然環境学習や体験活動を企画実施し、また小学校での総合学習の時間に対する支援を行う。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▼多摩川の持つ豊かな自然を活用し、川遊びや生き物や植物を観察する事業を「府中水辺の楽校」として実施し、イベントの内容は毎年異なるが、「多摩川ガサガサ魚とり」、「多摩川サマースクール」、「多摩川源流体験教室」等を実施している。 ▼小学校の総合学習において、環境分野を活動内容とする場合に活動の支援 ▼自然環境調査員が講師を務める緑化講習会の開催 ▼府中環境まつりでの自然体験コーナーの実施 ▼府中市の緑を増やすための「緑の募金事業」の実施 ▼市民が収集した落ち葉を堆肥で返す「落ち葉の銀行」の実施 				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼年間イベント（10回） ・多摩川ガサガサ魚とり・魚のつかみどり ・サマースクール ・多摩川源流体験教室 ・緑化講習会の実施 ・緑の募金事業の実施 ・落ち葉の銀行の実施 	子ども達が多摩川で楽しみながら、水辺の安全ルールを身に付け、日頃できない自然との触れ合い体験活動を実施した。年間のイベントを通じて、多摩川の水辺環境について、理解を深め、身近で貴重な自然環境を守っていく大切さを学ぶことができた。また、小学校の総合学習の時間の支援を行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> ▼年間イベント（8回予定） ・多摩川ガサガサ魚とり・魚のつかみどり ・サマースクール ・多摩川源流体験教室 ・緑化講習会の実施 ・緑の募金事業の実施 ・落ち葉の銀行の実施 	事業内容を維持しつつ、自主的な活動が出来るよう事業を進めていく必要がある。多摩川流域の水辺の楽校と連携を図り、源流や河口など地形による自然環境の変化を学び、多様な姿を見せる川の水辺について理解を深めていく。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼府中水辺の楽校（イベント7回） ▼小学校総合学習の時間の支援 ▼緑の募金事業の実施 ▼落ち葉の銀行事業の実施 ▼緑化講習会の実施 	府中水辺の学校の年間イベントを通じて、多摩川の水辺環境について理解を深め、身近で貴重な自然環境に触れ合う機会を提供できた。また小学校の総合学習の時間の支援も行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼府中水辺の楽校事業の実施 ▼緑の募金事業の実施 ▼落ち葉の銀行事業の実施 ▼小学校総合学習の時間の支援 ▼緑の募金事業の実施 	事業内容を維持しつつ、自主的な活動が出来るよう事業を進めていく必要がある。落ち葉の銀行については、公園内の落ち葉を回収し堆肥化することで、緑のリサイクルを図っていく。

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続		B	多摩川において、水辺を活用した自然環境学習や体験活動を企画実施し、小学校での総合学習の時間の支援も行った。緑の募金では、各小学校や企業に花の種や球根を配布し、身近な緑化活動を推進している。落ち葉の銀行では、公園内の落ち葉を回収し、落ち葉を堆肥化させることにより、緑のリサイクルの推進を図ることができた。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能	1	
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
府中水辺の楽校への参加児童	1,000	計画値 当初値	2,000	2,000	2,000	2,000	多くの子ども達に自然体験や自然環境学習の機会を提供しているが、イベントや総合学習の時間の当日に悪天候により中止となり、参加人数が減少している。
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	1,615	1,845	1,756	968	-	
府中環境まつりの参加者	1,500	計画値 当初値	1,500	1,500	1,500	1,500	
		計画値 補正值	0	-	-	-	
	実績	0	800	475	349	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	2,063,000	2,113,000	2,027,000	2,074,000	2,092,000	2,090,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	506,000	506,000	506,000	506,000	506,000	506,000
一般財源	1,557,000	1,607,000	1,521,000	1,568,000	1,586,000	1,584,000
予算現額	2,063,000	2,113,000	2,027,000	2,074,000	2,092,000	0
決算額	1,986,012	2,013,358	2,015,980	2,041,196	2,076,844	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	493,300	498,624	485,276	466,300	470,700	0
一般財源	1,492,712	1,514,734	1,530,704	1,574,896	1,606,144	0
執行率	96.3%	95.3%	99.5%	98.4%	99.3%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.15	1.60	1.11	1.12	1.12	
職員人件費	17,210,232	12,182,008	8,648,280	8,727,603	8,603,419	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	205,192	126,263	94,552	81,994	81,359	
総コスト	19,401,436	14,321,629	10,758,812	10,850,793	10,761,622	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
子ども達が多摩川で遊びながら、水辺の安全ルールを身に付け、日頃できない自然とのふれあい体験活動を行った。年間イベントを通して学んだことを2月の発表会において発表し、多摩川の自然環境について一層の理解を深め、身近で貴重な自然環境を守っていく大切さを学んだ。また、小学校の総合的学習の時間の支援も行った。 緑の募金活動により、学校等に花の種子、球根を配布し、身近な緑化活動を推進している。 落ち葉の銀行に団体登録し、公園内の落ち葉を回収し堆肥化することで、緑のリサイクルを図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
事業内容を維持しつつ、自主的な活動ができるよう事業を進めていきたい。 府中水辺の楽校のスタッフの高齢化や減少により、一部の事業では実施に支障があることから、今後、他団体への委託や事業実施のあり方について検討する必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1121000	緑と花いっぱい運動推進事業費	1,442,000	1,426,844	1,440,000
2	01	40	15	25	1125000	水辺の楽校推進事業費	650,000	650,000	650,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,092,000	2,076,844	2,090,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	生物多様性地域戦略推進事業			事務事業コード	20270400
概要	市内における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。				
総合計画	基本施策	1	自然・生態系の保護と回復	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	27	自然環境の保全の推進	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等	生物多様性基本法				
市関連事業					
対象	生物多様性地域戦略の策定				
実施の背景	自然共生社会の実現を目指し、地域における多様な主体が連携して、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた具体的な取組みを行うことを促進し、良好な自然環境を保護・回復に寄与する。				
事業目標	豊かな自然の恵みを継続的に受けることによって、自然と共生する社会の実現を目指します。				
事業内容	府中市生物多様性地域戦略に基づき、府中市の自然環境についての情報を集約し、生物多様性の大切さを知る機会の提供を行う。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
自然環境調査現地指導 各小学校敷地内の植物目録の作成 (東京農工大学業務委託) 生物多様性パネル展	府中市生物多様性地域戦略に基づき、府中市の生物多様性情報の集約と公開に向けた整備及び各小学校の敷地ごとの植物目録を作成した。そのほか生物多様性パネル展示会を行い、生物多様性の普及啓発に取り組んだ。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
自然環境調査の実施 自然観察会の実施 生物多様性の整備委託 生物多様性パネル展 生物多様性に関する講演会	市内の自然環境についての情報を集約し、生物多様性を知る機会を提供していく。様々な生きものの生息空間を保全するとともに、外来種への対策にも取り組んでいく。専門機関、研究機関、市民団体と協働し、生物多様性の取組みを進めていく。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
自然環境調査の実施 生物多様性情報の整備委託 生物多様性パネル展	府中市の生物多様性情報の集約と前年に引続き、各小中学校の敷地ごとの植物目録を作成した。生物多様性パネル展では、普及啓発のため展示等を行うとともに、府中市の取組みや生物多様性地域戦略についてのPRを行った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
自然環境調査の実施 生物多様性情報の整備委託 生物多様性パネル展 生物多様性に関する講演会	市内の自然環境についての情報を集約し、生物多様性を知る機会を提供していく。生物多様性について認識の低い一般市民を対象に普及啓発のため、展示会や生物多様性に関する講演会を実施していく。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	府中市生物多様性地域戦略に基づき、広く市民を対象に自然環境について考える機会を提供するとともに、生物多様性の普及啓発を行った。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することができないため、特に指標の設定は行わない。
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	0	2,403,000	691,000	646,000	623,000	592,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	1,200,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,203,000	691,000	646,000	623,000	592,000
予算現額	0	2,403,000	691,000	646,000	623,000	0
決算額	0	2,031,400	648,280	642,080	622,080	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	1,014,400	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,017,000	648,280	642,080	622,080	0
執行率	0.0%	84.5%	93.8%	99.4%	99.9%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	0.70	1.11	1.11	1.11	
職員人件費	0	5,329,629	8,648,280	8,649,678	8,526,603	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	0	55,240	94,552	81,263	80,633	
総コスト	0	7,416,269	9,391,112	9,373,021	9,229,316	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
生物多様性の主流化を図るため、生物多様性に関するパネル展や市民を対象とした講演会を開催し、生物多様性の普及啓発に取り組んだ。また東京農工大学に業務委託を締結し、生物多様性情報の集約と公開に向けた整備を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
生物多様性は専門的な分野のため、専門的な人材の確保が必要である。また生物多様性について、どれだけ広められたかを検証していく方法を検討する必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1117600	生物多様性地域戦略推進事業費	623,000	622,080	592,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							623,000	622,080	592,000